

# 県産材の新規需要創出のための大型木製家具開発

林業研究所

県産材の新たな需要創出を図るため、林業・木材関係等の事業者と連携して、マンションリノベーション向けの大型木製家具の製品開発を行いました。

製品開発では、大型木製家具の主要部品となる木製パネルの製作技術の検討を行うとともに、事業者の連携を図り、首都圏市場への販売展開を目指す体制づくりを支援しました。

## 開発した製品

### 木製パネルを主要部品とした大型木製家具 (可動式ユニット家具)

広さ2畳大の個室タイプ



趣味の空間、子ども遊び場所など多目的な利用を想定

建築工事で床・壁を作らずに大型家具で生活空間を作る新しいリノベーション手法を提案

ライフスタイルの変化に合わせた室内構成の変更が可能

マンション内の移動が可能な部品組み立て式

木製パネルはスギやアカマツの無垢材を多用



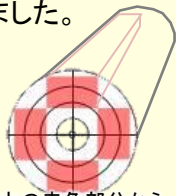
大型木製家具による生活空間のイメージ

## 木製パネルの製作検討

■ 原板の取り方や製材寸法、仕上げ方等を検討しました。



アカマツの原板



丸太の赤色部分から原板を取る



原板の取り方を検討

ベッドルームタイプ



開閉可能なベッド空間

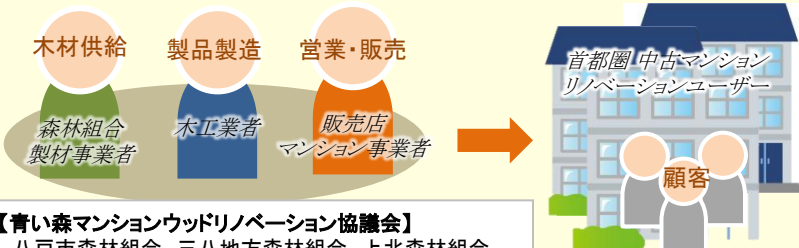
収納棚タイプ



観音開きの収納ユニット

## 生産・販売体制づくり

■ 業種を越えた連携で製品開発 → 首都圏で販売展開を目指す



### 【青い森マンションウッドリノベーション協議会】

八戸市森林組合、三八地方森林組合、上北森林組合(有)木村木品製作所、三八地域県産材で家を作る会 NPO法人フォレストリンク、株式会社COMEデザインラボ

■ 首都圏の大規模展示会に出展販売に向けた調査を実施

国際オーガニックエキスポ展(横浜パシフィコ、H29年8月)



製品3台を展示し、生活空間を演出

## 今後の展開

- プロジェクト名「SOMA青い森」で進行中。
- 林業研究所は、木材生産者と加工・販売業者との連携構築や製材技術などの助言をしていきます。

ホームページ



お問い合わせ

林業研究所 森林資源部 (Tel.017-755-3257)